

卒業生を激励 ～青森北高今別校舎卒業生～

今年3月に青森北高今別校舎を卒業し、関東方面に就職・進学した生徒を激励するため、去る6月16日、都内の品川プリンスホテルにおいて、新卒者激励会を同窓会関東支部と共に開催しました。

就職・進学した生徒8名のうち7名が出席し、現在の会社や大学での様子とともに、これからの抱負を語ってもらい、卒業しても変わらず元気な姿を見せてくれました。最後に、同窓会関東支部長の瀬川巖さん（昭和31年度卒業）から、「来年も出席して、一年間のがんばりなどを伝えてほしい」と声をかけてもらい、激励会を終えました。



なかやま壮七夕まつり

7月6日、なかやま荘で七夕まつりが行われました。

この日は、入所者がそれぞれ笹の葉に飾り付けをし、こでまりの会による読み聞かせも行われました。今回の読み聞かせには青北高今別校舎生徒（8名）も参加し、慣れないながらも聞きやすい読み聞かせを披露してくれました。



笹の葉に飾りつけをして大満足！



今別校舎生徒も読み聞かせに挑戦



今日は年に一度の七夕まつり！

婁月地区と青森婁月会の交流会

6月24日、婁月会館において、婁月地区住民と青森婁月会による交流会が行われました。

前回は5年ぶりの開催となりましたが、今回は平成23年の2月に「母の衣に抱かれて津軽 婁月ものがたり」がテレビ放映されたことをきっかけに開催され、婁月地区（稲葉喜代治総代）からは24名、青森婁月会（小倉義光会長）からは20名の参加となりました。



久しぶりの再会にお酒も会話ははずみず

交流会では、開催のきっかけにもなった「婁月ものがたり」の上映のほか、カラオケや婁月音頭など、歌や踊りを楽しんでいました。

また、テーブルには地区住民が準備した、茶まます（お茶の葉を細かくしてご飯に混ぜたもの）やミズの漬物などの手料理も並び、青森婁月会の皆さんも懐かしい味に昔を思い出していました。

参加した、青森婁月会の会員で青森市在住の辻村久子さんは、「今でも夢の中に浮かんでくるのは、現在住んでいる所の景色ではなく、ふるさと婁月の風景が浮かんできます。それほどふるさとで過ごした思い出というものは心の中に深く刻み込まれているということなのでしょう」と婁月への思いの強さを語ってくれました。

参加者は、次回の開催を心待ちに、交流会を終えました。

なるほど年金情報

☆☆☆こんなときは届け出を☆☆☆

種別が変更となる以下のような場合は届け出が必要となります。必要な書類などを確認のうえ、14日以内に届け出てください。

第1号被保険者（自営業・学生など）

こんなとき	変更後の被保険者の種別	届け出先
会社員・公務員になった	第2号被保険者	勤務先
会社員・公務員と結婚し、扶養されるようになった	第3号被保険者	配偶者の勤務先

第2号被保険者（会社員・公務員）

こんなとき	変更後の被保険者の種別	届け出先
退職した	第1号被保険者	市区町村
退職し、すぐに再就職した	第2号被保険者	新しい勤務先
会社員・公務員と結婚し、扶養されるようになった	第3号被保険者	配偶者の勤務先

第3号被保険者（会社員・公務員に扶養されている配偶者）

こんなとき	変更後の被保険者の種別	届け出先
年収が130万円以上になった	第1号被保険者	市区町村
配偶者が退職して自営業など（第1号被保険者）になった	第2号被保険者	市区町村
会社員・公務員になった	第2号被保険者	勤務先

？種別とは？

職業	自営業・学生など	会社員	公務員	会社員・公務員に扶養されている配偶者
種別	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者	第3号被保険者
保険料の納付の仕方	国から送付される納付書により保険料を納めます	厚生年金保険（以下、厚生年金）などの保険料を納めますが、それとは別に国民年金の保険料を納める必要はありません	納める必要はありませんが、配偶者の勤務先へ第3号被保険者であることを申し出る必要があります。	

《問合せ先》 役場町民福祉課 TEL 35-3003

計量器(はかり)定期検査のお知らせ

日程	時間	場所
8月27日(月)	10:30～11:00	竜飛今別漁協 奥平部漁港
	11:30～12:00	竜飛今別漁協 東部支所
	13:30～14:00	竜飛今別漁協 婁月漁港
8月28日(火)	10:30～11:00	竜飛今別漁協 大泊漁港
	11:30～12:00	浜名公民館
8月29日(水)	13:30～14:00	大川平文化会館
	10:30～12:00	今別町役場前
13:00～14:00		

《問合せ先》 役場企画課 TEL 35-3012

赤十字活動を支えるのは“あなた”です

昨年3月11日に発生した「東日本大震災」では、全国の支部や赤十字病院などの関連施設が一丸となり被災者の救護活動を行いました。

これらの赤十字活動を行うための財源となっているのが、赤十字社員の皆様から寄せられる社資であり、青森県支部の活動費のおよそ9割が社資によってまかなわれています。

23年度、青森県支部においては4年ぶりの増収となり、これもひとえに被災者を思う青森県民のやさしい“こころ”と赤十字社員の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

しかしながら、社資の募集を取り巻く社会情勢は長引く経済不況と、近年の激しい自然環境が与える経済的環境を考えると決して理想的とは言えません。赤十字活動資金の安定的確保なくして万全の体制による赤十字活動の推進は困難であるため、青森県支部では、更なる県民一人ひとりの赤十字社員への加入と社資のご協力をお願いしています。なお、赤十字社員加入・事業内容等については下記の連絡先にお問い合わせ下さるようお願いいたします。

《問合せ先》 ○日本赤十字社青森県支部 組織振興課 (TEL 017-722-2011)
 ○日本赤十字社青森県支部 今別町区分区 担当 役場町民福祉課 (TEL 35-3004)

平成24年度 今別町成人式の開催のお知らせ

日時 平成24年8月15日(水) 午前9時から
開催場所 今別町中央公民館
対象者 平成4年4月2日

～平成5年4月1日までに生まれた方

《今別》・阿部 涼平 ・荒内 俊樹 ・伊藤 俊
・木村 匠汰 ・古村 優斗 ・相内 鮎佳
・梅田 祐加 ・上野明日美 ・太田 理菜
・須藤 咲弥 ・中嶋亜久里 ・藤田 美恵
・森田 佳菜

《浜名》・川村 茉以 ・川村真奈美

《大川平》・相内 至 ・今 壱葵 ・田中 祐也
・田中 健児 ・相内結貴乃 ・明田 里穂

《二股》・内田正太郎 ・本郷 滉俊

《村元》・中島 望斗 ・宮本 啓樹 ・中嶋 睦
・倉光 葉月(旧姓:小鹿) ・島中 真矢

《山崎》・太田くるみ

《砂ヶ森》・藤巻 鴻士

《奥平部》・田中 高史 ・最上百美夏 ・山田 沙紀

※名前のもれている方がありましたら、
今別町教育委員会(35-2157)へお知らせください。

今別荒馬サミットin今別 <主催:民族舞踊教育研究会> 「全国今別荒馬のつどい」開催!!

会場: 今別町開発センター
講師: 今別荒馬保存会
参加費: 1人 1,000円で全日程参加可能
内容: 荒馬、手綱取り、笛、太鼓の各コースに分かれての講習会と運行への参加。

日程:
◎8月4日(土) ◎8月5日(日)
・15:00~17:00 講習会 ・10:00~12:00 講習会
・18:00~ 荒馬まつり参加 ・13:00~ 八幡町/村元地区の運行へ参加
◎8月6日(月)
・10:00~12:00 講習会
・13:00~16:50 今別町観光と竜飛ツアー
・18:00~21:00 今別町内合同運行(終了後は交流会)
◎8月7日(火)
・9:00~15:00 今別町内合同運行(終了後はご苦労さん会)
《問合せ先》 役場 企画課 TEL 35-3012

<警察官B募集のお知らせ>

警察官B【男性・女性】
青森県警察本部では、警察官Bの採用試験を行います。試験日程、受験資格等は次のとおりです。

受付期間: 7月23日(月)~8月31日(金)
第一次試験: 9月23日(日) 青森市、八戸市、弘前市
第一次試験合格発表: 9月28日(金) 予定
第二次試験: 11月上旬 青森市
最終合格発表: 11月下旬

職種	試験区分	受験資格
警察官B	男性	昭和55年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた者。ただし、大学卒業後及び卒業見込み者を除く。
	女性	

警察官B(男性)を希望する方は、警視庁、埼玉県、千葉県、神奈川県及び静岡県の警察官を同時に受験することができます。

採用予定人員については、試験案内(申込書)を入手してご確認ください。

《問合せ先》
外ヶ浜警察署: 22-2211 今別駐在所: 35-2029

今別町ふれあい福祉センター 8月の相談日のご案内

◎一般相談 日常のあらゆる心配ごとと悩みごと...など

相談種別	相談日	相談時間	相談員
生活一般相談 (毎月隔週の水曜日)	8月8日(水)・22日(水)	10:00~11:30	生活一般相談員
電話相談	毎週月曜日~金曜日	10:00~17:00	社協職員

※土・日及び祝日は対応できませんのでご注意ください。

◎専門相談 専門相談員による相談

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
法律相談	借金、離婚、財産相続、土地登記に関する相談	8月14日(火)	13:30~15:30	司法書士

※相談を予定している方は、事前に予約をお願いします。当日の来所は電話でお知らせします。また、8月の専門相談は法律相談だけです。

会場: 今別町開発センター 《問合せ先》 社会福祉協議会 TEL35-2770

◎外国人住民の皆様へ

<外国人に関する登録制度が変わります>

住民票とは日本において市町村と特別区で作成される住民(国民)に関する記録です。

各市町村ごとに住民基本台帳にまとめられていて、現住所の証明、選挙人の登録、人口の調査などに利用されています。(詳細は住民基本台帳で規定されている)

なお、外国人は外国人登録制度という別の制度で登録されているため住民票は使用されていませんが、外国人登録制度が廃止されるに伴い、平成24年7月9日からは、中長期滞在者や特別滞在者等についても住民基本台帳の適用を受けることになりました。

主な変更点

- 外国人の住民の方にも住民票が作成されます。
・外国人住民票についても住民基本台帳法の適用対象になり、日本人と同様に住民票が作成されます。
これまで住民基本台帳法と外国人登録法の別々の制度で把握していた複数国籍世帯(外国人と日本人で構成する一の世帯)について、世帯全員が記載された住民票の写し等が発行できるようになります。
- 住所に関する届出
・現行の外国人登録制度では、住所の変更をする場合には、転出地の市町村での手続きは必要ありませんでしたが、新制度施行後は、日本人と同様に転出地の市町村に転出届をして転出証明書の交付を受けた後、転入先の市町村に在留カードまたは特別永住者証明書(家族全員分が必要)を持参して転入届をすることになります。在留カードまたは特別永住者証明書を持参しなかった場合は、窓口に再度来ていただくことになりますので、ご注意ください。
- 外国人の印鑑登録も可能となります。
(ただし、外国人の短期滞在者は登録中の印鑑が廃止となります)

◎住基カードをお持ちの皆様へ

・住基カードでの転出・転入の手続きが可能となりました。また、転入転出を実施した場合においても住基カードが継続できるようになりました。

・詳細については、町民福祉課までお問い合わせください。

《問合せ先》 役場町民福祉課 TEL 35-3003

☆ 青森北高校今別校舎・今別中学校・三厩中学校合同 ☆ 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団コンサート開催

日時: 平成24年8月28日(火) 午後1時40分~2時50分

場所: 青森北高校今別校舎 第一体育館

演奏: 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団(約80名)

- 曲目: ①シンコペータッドクロック(ルイ・アンダーソン)
②鍛冶屋のポルカ(ヨーゼフ・シュトラウス)
③組曲「アルルの女」よりファランドール(G.ビゼー)
④サウンドオブミュージックメドレー
⑤美しき青きドナウ(ヨハン・シュトラウス2世)

※ ・入場無料。生徒玄関より午後1時30分までに入場下さい。
・10名以上でご来場の際は、事前に下記までご連絡下さい。

《問合せ先》 青森県立青森北高等学校今別校舎
TEL 35-2024

議会だより

発行/東津軽郡今別町議会
編集/議会広報委員会

No.172

第402回臨時会

平成24年5月18日、第402回臨時会
が招集され、議案7件を原案どおり承認
可決し閉会しました。

予算関係

単位：千円

24年度補正予算

会計名	補正額	補正後の額	摘要
一般会計	0	2,395,028	ねぶた小屋 内壁網戸工事 300
国保(事業勘定)	7,641	608,373	
介護(保険事業勘定)	1,057	424,517	

条例

○今別町税条例の一部を改正する条例に
ついて

○地方税法の一部改正によるもの
○今別町国民健康保険税条例の一部を改
正する条例について
○地方税法の一部改正によるもの

その他

○今別町診療所改修工事請負契約につ
いて
有限会社マルエイ相内工務店との工事
請負契約の締結を可決
契約金額は、6千5百8拾万3百5拾
円

○今別町過疎地域自立促進計画の変更
について
計画変更に伴い提案されたものを可決
する。

第403回定例会

第403回定例会が平成24年6月15日
招集され、20日までの6日間の会期で開
催されました。

提案された議案は、報告2件、平成24
年度補正予算5件、条例2件、人事案件
1件のあわせて10議案で、いずれも原案
どおり承認、可決、同意し、会期を1日
繰り上げて20日閉会した。

条例関係

○今別町印鑑登録及び証明に関する条例
の一部改正
住民基本台帳法の改正によるもの。

○今別町外国語指導助手の給料及び旅費
に関する条例の一部改正
JETプログラムの運用の改正による
もの。

報告

○平成23年度一般会計繰越明許費繰越計
算書の報告について
○平成23年度介護保険特別会計(保険事

業勘定)繰越明許費繰越計算書の報告
について

人事関係

○監査委員の選任について
監査委員(議会選出)に、中島邦彦氏
(70歳 村元)の新任について提案され
同意されました。

予算関係

○平成24年度一般会計及び特別会計補正
予算について可決されました。

補正予算の概要

単位：千円

会計名	補正額	補正後の額	摘要
一般会計	96,410	2,537,038	防災コミュニティ助成金 22,000 奥津軽駅前広場水資源確保試 験さく井工事費 10,000
国保(診療施設)	1,468	257,199	職員給与等調整
介護(保険事業)	143	424,766	職員給与等調整
介護(サービス事業)	△1,690	16,438	福祉車両の購入取止め
簡易水道事業	629	114,119	職員給与等調整

請願

○「緊急事態基本法」の早期制定を求め
る意見書を国への提出を求める陳情書
(資料配布)

入江 獎 議員

○少子化対策としての子育て
支援の一貫として、せ
めて小学校卒業するま
で子どもの医療費の無
料化を実現し、今別町
で安心して子育てが
できる環境をつくる
べきではないか

【質問】(1)小学校卒業するまでの子どもの
医療費(通院費、入院費窓口負担ゼロ)
を無料化するのに、今別町の3年間の資
料をもとに、年間どのぐらいの予算を必
要とするかお答え下さい。

町民福祉課長

今別町の3年間の資料をもとに試算し
たところ、対象人数は、148名で年間
約18,000千円以上の予算を必要と
いたします。

また、中学校卒業するまでは、30,
000千円以上の予算を必要といたしま
すので、よろしく願います。

【質問】(2)今別町で非正規労働者が増え
て、今別町で子育てをすることは容易で
はない。少子化をとめるには、当然雇用
の場の確保が必要ですが、子育て世代を
応援する行政の支援が必要などではな
いか。全国的に子どもの医療費の無料化
が進んでいる。特に若い子育て世代の
方々から「ぜひ実現を」と声が寄せられ
ています。今別町は安心して子育てがで
きる誇れる町にしたいと思うがいかがで
すか。

町民福祉課長

現在、今別町では安心して子育てや子
どもの健全育成の環境づくりをめざし
て、0歳から3歳までの乳幼児について
は、通院と入院の医療費を無料として
おり、4歳から就学前までは入院1日
500円、通院1月1,500円の負担
としており、ひとり親家庭については、

一

般

質

問

0歳から18歳まで医療費を無料としてお
ります。
また、妊婦健診につきましては、年14
回まで無料健診を実施しております。
ご質問の件につきましては、県の対応
を見極めながら検討して参りたいと思っ
ております。
町としても、医療費を負担できないか
とのことについては、町の財政状況は大
変厳しい現状にあります。しかし、検討
しなければならぬと思っております。
市町村が実施主体となる、子育て支援
の中で出来る限りの支援をしていきたく
と考えていますので、ご理解を頂きたい
と思います。

数年不漁が続いている今別町の小女子の現状について

【質問】(1)小女子は低層が砂質や砂礫質の
水域に好むとされている。丁度与茂内付
近の海が適している。小女子は大泊に一
番早く漁獲されます。この数年海水に泥
が浮かび、あげた網にかかる泥を取り除
く作業を大変だと言う。それほど海底に
泥が沈殿し、大泊の海の低層が砂質や砂
礫質の水域に泥が堆積していたら小女子
が住めなくなり、卵を産み付ける場所が
なくなり、そこで県水産にお願いし、
調査をお願いしたい。もし泥が堆積して
いたら県の方に泥を海底から取り除く作
業をお願いしなければならぬ。波止場
が小女子の白いジュータンで活気を取り
戻せるように行政でできることをやるべ
きだと思ってお答えください。

産業建設課長

青森県における小女子の漁獲量は、平
成14年度以降減少傾向にあり、昭和56年
〜平成6年の低迷期に戻ってしまったと
考えられています。
今別町の海域一帯は、下北半島の焼山

付近と並び唯一の産卵場所であり、その年の環境の変化と親魚数によって、その後の漁獲量に大きな影響があると調査結果が出ております。

与茂内川上流には、大泊浄水場の水源地もあり、川を汚さないようにこれまでも青森森林管理署等に機会があることにお願いして来ましたが。

しかし、小女子の不漁は、環境の悪化だけではなくこれまで成長した産卵開始の親魚の捕りすぎが一番の原因だと結果が出ております。

3月議会でも小女子漁についてお答えしておりますが、青森県産業技術センター水産総合研究所でまとめた、資源回復計画の目標では結論として、親魚数を3億尾以上で好漁となる3,000トンの漁獲量が期待できるとしております。

資源回復のために漁獲量を3割削減しても、5割削減しても10年以上かかるということですので。禁漁すると10年後に親魚数が3億尾を超えると予測をしております、資源回復のためには大幅な制限を行うことが必要性だと訴えております。

このことから、町では県、漁協と連携しながら漁業経営安定のため、資源回復に努力して参りたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

質問 (2)国民年金で暮らしている高齢の漁師さんは夏イカの生干しを商品化し収入を得るようにしたいという要望が出されている。今はイカの生干しやすめるための土産にするだけで、組合で取ってこれないので、販売方法について町の知恵はないか。

産業建設課長

次に夏イカの生干しの商品化ですが、真空パック等にするには町の活性化センターで出来ます。

また、販売方法については町、商工会のイベントに出品することが可能と思われまますので、相談してみたらよいかと思いますのでよろしく申し上げます。

○町の経済の活性化に住宅リフォーム助成制度の実現を

質問 (1)青森県内で、三沢市、青森市、五所川原市が住宅リフォーム助成制度を行っていますが、市の経済の活性化に役立っているかを教えてください。今年から平内町でも使い勝手がいい制度ということで、4月から実施しています。

質問 (2)最近の住宅リフォーム助成制度は、屋根や外壁の張替えや塗装、台所や風呂等の水回り、畳の張替や断熱ガラスの工事など、幅広い修繕や改善に、工事費の一定額を補助しています。この制度は全国に広がっており、住民の要求に合致し、中小業者の仕事おこしに役立ち、青森市や三沢市、五所川原市のように、市の経済の活性化につながっています。今別町でのこの制度を実現し、町の活性化を図りたいと思うがお答えください。

質問 (3)青森県安心安全住宅リフォーム促進支援事業の委託を受けていますか。この制度は県が市町村に委託している。

産業建設課長

ご質問は、市町村単独支援事業の住宅リフォーム助成制度だと思えますが、県内では、8市町村が実施しています。内容については、補助率、限度額等は県で進めている「安全安心住宅リフォーム促進支援事業」県補助支援事業と、ほぼ同じですが単独支援事業は要件や制約が少ないと云うことであります。

平内町の住宅リフォーム支援事業を見ても現在、単独支援事業が15件の申込みに対し県補助支援事業は申込み0となっております。

県では、24年度に「安全安心住宅リフォーム促進事業」の補助要件の緩和や制限を見直し、単独支援事業に沿った事業に見直しをしていますが、まだ伸び悩みの状況となっております。

町では現在、平成16年度から浄化槽設置整備事業として、合併浄化槽を設置する方へ補助金を交付しており、年間平均15基程度で、4,500千円の一財源が支出されています。

このことから、リフォーム単独支援事業は実施できない状況ですが、「安全安心住宅リフォーム促進支援事業」県補助支援事業は実施予定と報告しております。この支援事業でも町で、独自に工事の補助要件の緩和や制限ができることから、検討しながら実施を考えていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

なお、現在のこの事業の財源内訳については、国・5/10、県・5/10、市町村0補助率が1/10（耐震関係2/10）自己負担・9/10（耐震関係8/10）総工事費が50万円以上で住宅性能の向上に係る改修工事費が25万円以上であること補助率が一般リフォームで10%限度額20万円まで、耐震リフォームで20%限度額60万円までとなっておりますのでよろしく申し上げます。

○今別町も本格的なサル対策被害の見通しについて

質問 (1)鳥獣対策として効果が期待され、全国的に普及が進んでいるモンキードックを活用した追い上げ及び追い払いを、平成20年度からむつ市に導入による、農作物の猿被害にどういった効果があったか教えてください。

質問 (2)むつ市のモンキードック運用までの、犬の選定、訓練、引渡し（費用）、運用、そして運用の効果について教えてください。

質問 (3)今別町でモンキードックを利用した猿被害対策を実施しようとするば、今別町鳥獣被害対策実施隊要領づくり、サル被害地区から被害防止対策の実施に積極的に取り組むことができる代表を集めて準備会を開くことを提案しますが、お答えください。

産業建設課長

モンキードッグ導入での、農作物被害の効果についてはありますが、むつ市ではサルが犬の気配を感じ、人家周辺及び耕作地へ近寄りなくなったこと、また導入後と導入前の農作物被害を比較すると、約7割減少したことを挙げています。

導入にあたり、犬の選定にはサルに對して最大の威圧感を与えることや素人でも扱いやすい等の意見を参考に、ジャーマン・シェパードに決定しております。その後、基礎訓練に人に危害を加えない、命令に従う、追い払い後は戻って来る、サルを見たら追い払い等の訓練を実施し、併せて野猿監視員と鳥獣対策室職員もパートナーを組むための飼育訓練を行っています。

運用は被害を多発させる群れ1つに対し1頭を貼り付け、追い払いと追い上げについては、前日の日没状況を把握し、発信器で群れの位置を確認しながら実施することになっております。

費用については犬1頭で、購入費50万円、野猿監視員の人件費が2名で470万円、えさ代1年で20万円程度、車代と諸経費等を入れた総経費が1頭分で550万円ほどになります。

むつ市は北限のサルとして国の天然記念物であり、駆除することが認められておりません。このことから費用が掛かっていてもモンキードッグ導入はやむを得ないことと思われまます。

当町では駆除が認められていることから、費用対効果を考えた場合、これまで行って来た猟友会による猟銃による駆除が一番有効な対策と思っております。サルの頭数も増え追い払いだけでは限界があり、駆除計画の捕獲数を増やすことが課題となります。今後も猟友会の駆除委託を中心に被害の防止に努めて行きたいと考えていますのでよろしく申し上げます。

○今別町に新幹線の駅を建設するにあたって

質問 (1)仮称「奥津軽駅」の建設費の予算として10億円の内、町の自主財源の支出はいくらの予定か。その費用の借入金はいくらで、借入先の金融業者はどこで、何%の利子で何年間で、どの財源で返済するのかを教えてください。

企画課長

北海道新幹線（仮称）奥津軽駅の建設

費については、今年度の実設計により積算されるものと考えており、現段階で鉄道運輸機構から詳細の明示はされておられません。

新幹線駅の建設負担金につきまして、全体工事等の内、旧2種工事と呼ばれる当町に連関する工事費の概ね30分1が地元負担金ということになっております。今年度当初予算の中で負担金として36,400千円を見積もりしており、この内、起債による負担が32,700千円、自主財源が3,700千円として積算したものです。

また、この負担金に係る後年度にわたる返済計画は、銀行等の民間資金を活用し、1%未満の利息で10年償還を見込んでおります。最終的な返済には自己財源を充当する予定です。

なお、屋内駐車場を含む駅前広場の工事関連及び新駅の約3億円の建設負担金並びに関連道路など全体経費は、概算で14億円程度が見込まれていますが、県道からの進入路等道路部分については、町長の県に對する1年以上の要望活動により、このほどようやく県の事業により実施される見込みとなったものです。

このように全体事業費はまだ未確定の部分が多いのですが、町の負担軽減につながる協議を、関係機関と継続して参りたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

質問 (2)新幹線の駅に町としてかなりの重い自己負担の予算が支出されるわけですが、返済能力からいって、町民の負担が増えるのではないかと。新幹線の駅ができるからといって、町の財政を豊かにする収入の見通しがあるのかを教えてください。もし特別収入の見通しがないとなれば、借金の返済だけがのこることになり、後世の町民に箱物のつけを残すことになる心配が懸念されるが、いかがですか。

企画課長

ご質問の新幹線駅の整備後の収入源についてですが、直接的なものとしては、駅舎等関連施設の固定資産税が見込まれていますが、金額については、施設の整

備価格等から算定されることから完成後の課税となります。

また、間接的な収入としては、新幹線駅関連施設を管理するための雇用が見込まれているほか、観光客等の増加による収入の確保、特産品の販売等による収入の増加が見込まれています。

いづれにしても、ご指摘のように借金の返済だけが残る事業とならないようにしたいと考えておりますので、議員からご意見ご提言をお願いいたします。

【質問】(3)新幹線の駅前広場に大駐車場を建設予定ですが、新幹線開業にあたって宿泊の車など、駐車料金を取る予定はありますか。新青森駅は駐車料金は取っているが、十和田七戸駅では無料になっており、新幹線の利用者は、駅が遠くても、七戸の駅を利用しての方が多く聞いています。せつかく今別の駅を利用してきでくれるのであれば、基本的に駐車料金を取るべきではないと思うがご答えください。

企画課長

駅前広場の駐車場は現在の見込みでは、屋内駐車場に普通車で46台、屋外の駐車場に34台、合わせて80台程度を見込んでおります。屋内駐車場は、冬期間を考慮した場合、当該豪雪地域には必要不可欠な施設と認識しております。駐車料金の徴収については、現在稼働している近隣施設の状況を確認しつつ、乗降客にとって、より利用しやすい施設となるよう十分な検証をした上で、決定されるものと考えております。

あくまでも現段階における計画としては無料としたい考えであります。

【質問】(4)新幹線の駅開業に向けて他町村との連携が進んでいますか。具体的にどんな取り組みをしていますか。

企画課長

他町村との連携についてのご質問ですが、新幹線駅舎の内部構造等に関する要望につきましては、道南エリアの町村と連携し、道路整備要望等につきましては津軽半島協議会に加盟する市町村と連携し事業要望を展開しております。また、新幹線開業後の連携につきま

ては、来月計画されて新幹線フォーラムの際に町民の皆様にも新幹線計画を説明しながら、東郡や半島エリアの構成市町村及び道南エリアを含めた、行政及び商工観光団体等に対し、施設の活用等の要望活動を展開することとしております。

今年度の具体的な連携としては、津軽半島エリアを中心とした広域観光ルートマップの作成を計画しております。

○広域消防事務組合に関する内容

【質問】(1)町内に配布した資料1の22ページで、広域消防組合議会での副町長の発言で、「町議会の議決は、消防事務組合の議決より優先される」と発言しているが、法的根拠を示せ。

【質問】(2)広域消防事務組合を一旦つくれば、市町村の財政負担は当然ありますが、消防に関する権限と執行は、市町村から離れ、すべて消防事務組合にまかされることから、なぜすぐに今別分署の第一四半期分の予算を支払わないのか。

町長

今、消防組合は管理者間で話し合い、最終段階に入っております。

微妙な駆け引きなどが議題となっている時に、町の考えなど、手の内をあきらかにする事は、必ずしも得策ではないと考えますので、消防事務組合に関する質問については、一切お答え出来ませんので、ご理解を頂きたいと思っております。

○三厩―蟹田間の外ヶ浜町の循環バスについて

【質問】(1)外ヶ浜町の循環バスが今別町内に停車しないことが住民に大きな不安を与えている。町内で年間1,000人利用している。外ヶ浜中央病院に通院している方や老健施設たんぼぼに入所している方の家族の皆さんが「これからどうすれば…」の声でいっぱいです。JR利用しても、蟹田駅の階段の昇り降り、駅から病院まで歩くのは、病氣・高齢者の方は大変です。なんととしても継続をめざし

て党派をこえて対策・運動に取組む必要があると思えますが、ご答えください。

総務課長

各病院等では、患者の利便性に配慮し、独自のサービスとして、病院までのバスを運行しています。

青森市内では、「慈恵会」厚生病院「協立病院」などの外、個人医院でも送迎を行っているっております。

患者へのサービスと病院経営を考えると、外ヶ浜中央病院で行うことが、本来の姿であります。

また、患者は外ヶ浜中央病院にだけ通院しているものではなく、青森市内の病院にも多くの方が通院しています。

このような中で、今別の町民へ公平なサービスを提供するためには、通院している全ての病院に、バスを走らせる必要がありますが、不可能です。

今別町には歯科医院を含め、病院が3箇所ありますが、民間の1病院はバスを走らせ、町でも巡回バスを運行しております。

更に、今別診療所を町の医療の拠点とするため、新医師を迎え、診療所の改修を行っている状況にあります。

これらを総合的に判断した結果、外ヶ浜中央病院への運行は考えておりません。但し、今別町に病院がない場合は、考えなければなりません。ご理解をお願いいたします。

富士 和比古 議員

○新幹線問題について

【質問】(1)観光客を迎える具体的な企画はできているのか。その進行状況を伺いたい。

他町村との具体的な連携はあるのか。(今別・竜飛・金木・五所川原)利用者の乗車目標は。(他の駅の乗車数の調査)「駅前広場」、おみやげ店等の企画は進んでいるか。町をPRする企画等はできているか。

「また来たい町、今別」の総合的な企画を検討する必要があると思うが。

【質問】(2)商工会に委託している企画のための職員の動きはどうなっているか伺いたい。

町では今年度、「今別町観光ボランティアガイド応援隊」を組織し、町内観光施設の見直しや新たな名所、旧跡等の発掘などの勉強会を実施し、観光ガイド周遊コースの選定等の作業を進めております。

また、観光客誘客に向けた地域資源の発掘等事業を県民局と連携して進めているほか、特産品の開発に向けた事業を、商工会や町内関係団体とともに実施しております。

観光客の誘客に欠かせない2次交通の整備については、地元の周遊コースの選定を進め、広域観光ルートの選定では、広域関係市町村とバス活用計画の協議を進めたいと考えております。

町外の観光運送事業者とも連携した周遊コースの選定作業を進めることとしております。

また、新幹線効果を町内にも波及させるために、個人旅行者等をターゲットにした、きめ細かな観光サインの設置や、商店街を含む街並み環境の整備なども今後商工会と連携しながら進める必要があると考えております。

○小学校の運動会について

【質問】(1)小学校の運動会に参加して、人数の少なさに驚きました。今は、町の体育祭も無くなり、町民も寂しい思いをしているものと考えております。先日、仙台に孫の孫の小学校でも、少子化のため地域と一体の運動会を開催している話を聞き、少子化による教育の影響の大きさを考えております。小学校の運動会は地域全体の大きな喜びのイベントであります。企画担当する皆さんは大変でしょうが、わが町でも地域も参加して運動会ができないものでしょうか。

教育課長

学校における教育活動等については、家庭や地域の方々にたいして学校だよりや広報紙などをはじめ、学校行事やPTAの会合において理解や協力を得ながら、体験活動等で地域の人材を活用するなど、地域の方々との交流を図りながら、開かれた学校づくりに努めております。

毎年行われている運動会については、その年の反省を踏まえ、次年度につなげておりますので、町内会等から具体的にご要望があれば、ご意見として学校に伝えたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

富士 直治 議員

○除排雪の仕方について

【質問】(1)除排雪事業のうち、除雪は業者、排雪は町で行っているが、排雪も規定を決めて昨年のような大雪の時や対応しきれない時は一部を業者にやらせたらどうか。

【質問】(2)平成23年度の市町村道除雪に対して、国から補助金が出たが、今別町は東郡の中で1番補助額が少ないのはなぜか。

産業建設課長

昨年度の冬は7年ぶりの豪雪となり、除排雪で道路幅等を十分確保することができない状況が続き、不便をかけたことは、申し訳ないと思っております。町では、業者への全面委託から単独でタイヤショベル、ダンプトラックを購入し、除排雪の経費削減に努めて参りました。その甲斐あって除排雪費用も年間5割ほど削減になっております。

当面は、今の体制を維持しながら、職員の配置と除排雪車の体制を考え、緊急に支障が出ないよう努めて参りたいと思っております。

このことから、ロータリー除雪車の購入を決め、今回の定例議会に提案したものですので、よろしくお願いたします。次に、2点目の市町村道除雪に対しての国から補助金が東郡の中で一番少ない

のはなぜかということですが、この補助金は新聞にも掲載された臨時市町村道除雪事業費補助金と異なります。

当町は、外ヶ浜町とは違い特別豪雪地帯に地域指定され、積雪で毎年普通交付税への算入と、社会資本総合交付金事業で雪寒道路を対象に、除雪事業費として3分2の補助金が交付されております。

しかし、昨年度は豪雪のため、この臨時市町村道除雪事業費補助金が追加となり、各町村も補助金が増額となりました。

当町が多町村より補助金が少ないのは、対象となる雪寒道路延長が少ないためであります。このことから、機会あるごとに国、県に雪寒道路路線の見直しと、対象路線を除雪路線全区间を対象にしてくださいと要望してまいりますのでご理解をお願いいたします。

質問 (3) 昨年は大震災のあった年にもかかわらず、緊急避難路の除雪がされていなかった地域があった。今年度は各地域の意見を聞きながら、除雪計画を見直したらどうか。

産業建設課長

昨年の3月11日の大震災は、まさに予想外の大きな災害でありましたが、幸いにも今別町は大きな被害もなく、乗り切ることができました。

しかし、奥平部避難所などの道路の除雪が行われていなかったことも事実であります。

そのために、津波を含め、避難所の見直しも行いました。

しかし、町が全ての避難所を24時間完璧に除雪することは、難しいものであります。指定されている避難所への避難路確保のため、各地区と町の役割を話し合い、対応することが必要では考えております。

○路線バスについて

質問 (1) 今別町の巡回バスの経路は概ね海岸方面と山方面の2路線になっているが、海岸方面は津軽線の接続を考慮した運行時間になっているが、山側方面は考慮されていない。これは、大川平にも二

股にも駅があるということだろうが、鍋田関口地区は山方面にあたる駅がなく、調査したところ、津軽線を利用できるのは、上りは12時49分発、下りは11時54分と14時52分の2本です。通常、買い物や通勤通学で利用したい1番便、最終便が利用できません。これでは、利用者は大変不便を感じていると思います。改正できないものか。

総務課長

質問の「鍋田・関口」からの、津軽線への接続については、上り1本と下り2本が利用できますが、その他の便には接続がされておられません。

全ての列車への接続は難しいものの、上りの1番列車と下りの最終列車を含め、利用しやすいものとしなければなりません。

また、「今別駅」「大川平駅」「二股駅」の接続が可能と考えられますが、接続駅も含め検討しますので、ご理解をお願いします。

○急傾斜地について

質問 (1) 今年の春はたくさん雪害箇所が見られた。裏月の七曲坂で先日大木が落下して、落石防護柵に引っかかって

いました。今別町は急傾斜地と民家が近接している箇所が多く見られますが、危険箇所などの調査は行われているか。

質問

(2) 私も町民の方から湧水や転石、危険木、地滑り等の話を聞いています。ぜひ、速やかに調査した後、優先順位を決めて危険箇所から早急な対処をお願いしたい。

産業建設課長

県では、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（通称・土砂災害防止法）」に基づき、土砂災害が発生するおそれがある土地の区域を明らかにするため、今別町内は平成18年度に基礎調査を行っています。

今別町の「土砂災害の発生する可能性のある箇所」は、急傾斜地38箇所、土石流が31箇所、の計69箇所の危険箇所があり、土砂災害特別警戒区域（レットゾー

ン）及び土砂災害区異域（イエローゾーン）の指定を平成19年度に完了しております。これに基づき、県で特別警戒区域から計画的に整備を進めておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

次に、危険箇所を速やかに調査した後、優先順位を決めて早急な対処ということですが、湧水や地滑り等の危険箇所は皆様からもお話を聞いており、県に報告しております。

- 1. 奥平部側の旧開智小学校道路の地滑り対策事業
- 2. 砂ヶ森の砂防ダム。地滑り工事
- 3. 裏月の急傾斜地補修対策工事・七曲災害防除工事
- 4. 大泊治山工事
- 5. 中今別川砂防工事
- 6. 中大川平沢砂防事業

と昨年度から着手、今年度から着手、来年度から着手予定となっておりますのでよろしく申し上げます。

中島 邦彦 議員

○仮称奥津軽駅舎の施設について

質問 (1) 駅舎内のホームへエスカレーター設置を要望しておりますが、設置の確定はいつごろになるのか

企画課長

北海道新幹線（仮称）奥津軽駅については、皆様から多くの貴重なご意見ご提言をいただき、県を通じて鉄道運輸機構へデザイン画を推薦し、この程決定したところでありました。

ご質問の駅舎内ホームのエスカレーターにつきましては、建設主体である鉄道運輸機構へ設置の要望をしておりますが、駅舎入口同様のエレベーターが設置される予定になっていることや、全体計画の変更が生じることから、国や県においては、建設負担金の増額が予想されるため、協議が難航していると伺っております。

現段階で設置の可否並びに確定時期等は発表されておりませんが、鉄道運輸機構においては、今年度駅舎の実施設計が行われる予定となっておりますことから、今年度内にはお知らせできるものと思っております。

乗降客の利便性向上には、必要不可欠な設備であると考えられることから、引き続き実現に向けた要望活動を継続して参りたいと考えております。

また、駅舎入口部分のエレベーターの増設についても、引き続き要望して参りますのでよろしくお願いいたします。

○仮称奥津軽駅舎内駐車場について

質問 (1) 町で整備する屋内駐車場は、有料とするのか無料とするのか、有料とすればいくらの料金設定になるのか

企画課長

ご質問の屋内駐車場料金につきましては、1番入江議員の質問でもお答えしたとおり、料金設定については、これまでに開業した近隣の近隣の新幹線駅の利用客の動向等十分調査した上で、決定されるものと思っておりますので、現段階では無料として計画しております。

質問 (2) 駐車場利用は24時間出入りが可能とするのか。

企画課長

屋内駐車場の利用時間につきましては、現段階では24時間利用可能なものとして考えて計画しております。

ただし、24時間対応の場合、安全管理上の問題が多く、維持管理費も含めた内容で検討を加えているところであり、皆様とさらなる協議を重ねながら決定したいと考えております。

質問 (3) 駐車場周辺の冬期間の雪対策はどのように考えているのか。

企画課長

当該駅周辺は、町内でも豪雪となる地域であり、冬期間における雪対策は避けて通れない問題だと考えております。

そこで、試験的な要素も含めて融雪のための井戸掘削工事を、今回の補正予算に計上させていただいたものであり、掘削の結果次第で今後の計画に、反映させたいと考えております。施設の管理経費の節減対策も併せて考えたいと思っております。

編集後記

早いもので議員になって3期目に入りました。たった7人の議会ですが、議長を中心に全議員が一枚岩となつて、初心にかえり、一生懸命頑張ります。町民のために。町の活性化のために。議会広報委員 福士 和比古

イマダス

まちの行事予定

(8/1~9/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

8/4 (土)	・荒馬まつり (7日まで)《さざなみ公園・町内》	観光協会
9 (木)	・集団検診《浜名公民館》	町民福祉
10 (金)	・集団検診《開発センター》	町民福祉
15 (水)	・今別町成人式《中央公民館》	教育
22 (水)	・献血	町民福祉
23 (木)	・第2回キクの会	社協
24 (金)	・小・中学校始業式	教育
25 (土)	・県民体育大会《八戸市ほか》(26日まで)	教育
26 (日)	・郡PTA研究大会《蓬田村》	教育
27 (月)	・特定計量器定期検査 (29日まで)	企画
29 (水)	・今別小学校修学旅行 (31日まで)	小学校
30 (木)	・東郡中学校英語弁論大会《平館中学校》	中学校
31 (金)	・町・県民税第2期納期限	税務課
9/2 (日)	・第20回県民駅伝競走大会	教育
5 (水)	・芸術鑑賞教室 (今別中学校)	中学校
7 (金)	・今別小・知内小交流学習《知内小学校》	小学校
10 (月)	・集団検診《霞月会館》	町民福祉

戸籍の窓口

(6月1日から30日までの届出分)



ご結婚おめでとうございます

綿谷 圭太 (宮城県仙台市)
※養月出身
橋立 絵梨香 (神奈川県厚木市)

今別の姿

(平成24年6月30日現在)

面積	125.28km ²
人口	3,274人(-16)
男	1,522人(-10)
女	1,752人(-6)
世帯数	1,556 (-4)
()内は前月比	

お悔やみ申し上げます

山田 繁美 (76)	村元
中島 直行 (57)	村元
太田 健一 (54)	山崎
田中 夕マ (81)	奥平
山形 平八郎 (69)	奥平
島中 サト (96)	山崎
相内 たき (101)	二股
田中 運一郎 (82)	大川

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課町民担当へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出下さい。

合格おめでとう

第165回全国商工会連合会珠算検定合格者
7級 笹谷 幹太(今別小3年)

献血にご協力お願いします!

日程:平成24年8月22日(水) ☆献血手帳をお忘れなく☆

時間	場所	採血区分
AM10:00~AM11:30	今別町開発センター	200ml・400ml
PM1:00~PM3:30	今別町中央公民館	200ml・400ml

《問合せ先》役場町民福祉課 TEL 35-3004

編集後記

新幹線フォーラムは町内外から多くの方々に参加していただき大盛況でした。これからも開業までにさまざまなイベントが開催される予定です。この奥津軽(仮称)駅の開業は、今別の将来を大きく左右すると言っても過言ではありません。今別町の未来のため、これからも町民の皆様の積極的な参加をお願いします。

さて、次なる行事は皆さんお待ちかねの荒馬まつりです。今別の短い夏を華麗に力強く彩る荒馬。県外からの観光客も大勢集まるよう、盛り上がることを間違いない!

そうそう、今年も今別牛の販売は早い者勝ちですよ!!

(広報担当 奥崎 匠)

私が今一番楽しみにするのは、修学旅行です。修学旅行では、色々な所に行くのでわくわくしています。函館は、たぐさんの名所などがあるので、修学旅行の資料などを見て、みんなといっしょにまわって、記憶に残るような修学旅行にしたいです。あと、バスケットの方もまだまだこれからなので、どこのチームにも負けないように試合で使える練習をたくさんして、チーム一丸となつてがんばっていききたいと思います。



①高桑 杏奈
②大川平
③アツミー

町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」
①氏名 ②地区名 ③将来の夢

6月の末にマラソン大会がありました。マラソン大会のため、練習をしました。1位をとれるように走りました。体育で走るときも本気でやりました。ほくにはフライバルがいます。ずっと勝てなくてその友だちを目標にして、いつも走っていました。ほくは負けずきらいなので、「今年こそ勝つてやる。」と思いつながらばりました。マラソン大会当日、ほくは全力で走りまわりました。2回目のマラソン大会で勝つてようがんばりたいです。



①相内 大地
②村元
③サッカー選手



推奨
4年 畠山 聖令奈 さん

このコーナーでは、「北海道新幹線フォーラム今別」の会場に展示された、今別小学校4・5・6年生の絵画を紹介します。

新幹線

あーと

ぎやうりい



準特選
4年 野土 捺智 さん



特選
4年 藤田 あさひ さん



4年 佐藤 優大 くん



4年 野土谷 侑斗 くん

《あおり家庭教育10か条》

—子どもには愛を伝え、手本を示し、ほめて、叱って、見守って—

家族の会話を大切にしよう